

令和8年4月吉日

日本技術士会長崎県支部会員
関係技術者 各位

公益社団法人日本技術士会九州本部
長崎県支部長 山口 昭光

2026（令和8）年度長崎県支部第1回研修会・交流会の開催について（ご案内）

若葉の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、公益社団法人日本技術士会九州本部長崎県支部では、第1回研修会・交流会を下記のとおり開催しますのでご案内します。公私ご多忙中とは存じますが、皆様のご出席をよろしくお願い致します。

準備等の都合もありますので、5月29日（金）までに出席の可否についてご連絡をお願い致します。

記

1. 第1回CPD研修会 14時50分～17時 受付：14時30分から
日 時 令和8年6月6日（土） 14時50分～17時
場 所 杉森センリュウ
諫早市永昌東町13-29 TEL：0957-22-8888
参加費 会員：1,000円、非会員：2,000円
（当日徴収します）

（講師及び内容）

- 1) 高橋 和雄氏（長崎大学名誉教授、
長崎大学大学院総合生産科学研究科持続可能社会創造センター）
【演題：自然災害を自分事化する災害伝承の地域実装の取組みについて】 B2
14:50～15:50

自然災害は同じ地域に繰り返して発生しているが、発生頻度が小さいことと土砂災害や洪水被害は比較的狭い範囲に発生するため過去の災害が伝承されにくい。先人が地域に遺した災害碑、災害遺構、伝承等は災害を忘れない、自分事化する貴重な資料であるが、防災・減災に活かされてない。災害伝承に関する学術調査結果を地域実装する取組みについて、事例を含めて災害伝承を防災に活かすには行政の防災部門だけでなく、多様な主体の連携が必要で、社会実装には専門家の中間支援が必要であることなどを解説してい

たきます。

2) 近藤 能子氏 (長崎大学大学院総合生産科学研究科、准教授)

【海洋における鉄など微量栄養物質の動態に関する研究】A1-4

16:00~17:00

海洋において植物プランクトンによる光合成は生物生産の基盤であり、海洋生態系を把握するにはその仕組みを理解することが必要である。2005年国際科学会議により国際共同研究プロジェクト GEOTRACES 計画「海洋の微量元素・同位体による生物地球化学研究」が採択された。その研究の一端を解説していただきます。併せて、第67次南極地域観測隊の一員として参加され4月6日帰国されましたので南極のホットな話題を報告していただきます。

※1 長崎県支部よりCPD受講証をお渡しします。(CPD2単位)

※2 フォーム認定 公益社団法人日本技術士会九州本部 CPD 審査委員会

※3 建設系 CPD 協議会HP (CPDフォーム) に掲載 (CPD 単位相互承認)

2. 交流会・合格祝賀会 (同会場にて) 17時~19時

会費 6,500円

出席申込 メールアドレス : s.orita@zb4.so-net.ne.jp

TEL : 095-824-3620

第1回研修会 ご出席 ご欠席

交流会 ご出席 ご欠席 ※該当に○をつけて下さい。

ご氏名 (部門) ご住所 (勤務先又は連絡先)

TEL :

E-mail :